

医療機能の整備充実を!!

(2) 宮城県立循環器・呼吸器病センター移管について

宮城県は、県北地域の医療環境は、大崎市民病院の医療機能が高度化するなど大きな変化が生じており、宮城県立循環器・呼吸器病センター（以下、「循呼センター」）は、県北地域の循環器系・呼吸器系疾患の中心的医療機関としての役割の見直しが必要として「県北地域基幹病院連携会議」を設置し、「循呼センター」の在り方等について検討を進め、平成28年9月14日〔検討結果報告書（以下「報告書」）〕をとりまとめました。

宮城県は、①循呼センターの医療機能は、栗原中央病院などに移管・統合する。②結核医療は、総合病院としての規模・立地条件等から栗原中央病院とし、結核病棟の病床数は、30床程度とする。

1、循呼センターは、栗原中央病院等への医療機能の移管が完了するまでの間、医療機能の維持・継続は、どう保障されますか。

2、循呼センターから栗原中央病院へ移管される医療機能の環境整備について

① 医師・看護師・医療技師等の定員数とその確保は、どう行われますか。

② 教育・研修・訓練等は、どう行われますか。

3、職員の雇用・労働条件等はどう守られますか。

4、移管先となる栗原中央病院への患者・利用者の利便性の確保をはかるためには、交通アクセス、市民バスの整備・充実が必要であります。

5、循呼センターの跡地利用について

循呼センターが長い間地域で果たしてきた役割や高齢者人口割合の増加する中で、地域住民から医療機関や介護老人保護施設等として、有効活用を強くもどめる多くの声が寄せられています。どう対応しますか。

6、移管スケジュール等について

宮城県は、平成28年11月県立病院機構の中期目標の変更、平成29年2月中旬計画の変更、平成29年度跡地利用に関する公算事業者の決定、平成29～30年度栗原中央病院への感染制御病棟の整備（設計・建設）、平成31年4月循呼センターの機能移管、土地・建物の跡地利用法人への提供としています。宮城県と栗原市とのこれまでの協議経過と合意内容、今後の対応の方針、スケジュールは、どうか。

答弁（市長）

(2)-1 県設置の県北地域基幹病院連携会議の報告書では、県立循環器・呼吸器病センターの診療体制は、利用者の意向等を踏まえ、栗原中央病院等への医療機能の移管が完了するまでの間は、必要とされる医療機能

を維持、継続していくべきとされており、県では連携会議の検討結果を踏まえ、移管・統合が予定されている平成31年4月までは、現在の診療機能を維持し、继续する方針を示しています。

(2)-1-1 循呼センターから栗原中央病院（以下「中央病院」）に移行する職員は、医療機能の移管に伴い、中央病院で必要とする職種、職員数等を基本として、職員の意向を確認しながら調整する。また、結核病棟の運営に必要な職員の確保は、県が責任を持って対応するよう市に意向を伝えています。

(2)-2 職員が安心して働くことができるよう、例えば中央病院で研修を行なうなども含め、県と協議し調整していきます。

(2)-1-3 循呼センターから中央病院へ移行される職員は、栗原市病院事業の職員となり、身分移行に伴う処遇面は、今後、県と調整することになっています。

(2)-1-4 要望に基づき、地域の将来を議論する場として「瀬峰地区地域づくり検討会」を設置し、10月18日と11月14日に開催しています。交通アクセスに関する要望事項を取りまとめ、

答弁（市長）

「栗原市地域公共交通網形成計画」の中で検討していきます。

(2)-1-5 岐阜は、介護老人保健施設や医療機関等の活用など、地域の医療・介護体制の充実につながる活用を図るとしており、市の「介護保険事業計画」との

整合や「瀬峰地区地域づくり検討会」の意見にも配慮するとしています。

(2)-1-6 9月30日に連携会議の検討結果について、県の保健福祉部長から説明を受け、10月5日の議員全員協議会で、11月7日協議事項などに対する県の方針について、県の保健福祉部長から説明を受け、基本的事項は、県と大筋で合意に至り、年内には最終的な判断をしたい。

その後、県に対し機能移管に伴う医療機器設備の考え方や、必要な看護師等の職員確保、移管後の医師配置及び診療機能に係る定期的なワーキンググループの開催などの条件は、協議を重ねています。

1、医療・介護ケア、地域包括ケアシステムの推進について

トワーカII地域包括ケアシステムの推進が求められる。この地域包括ケアシステムと整合する、適切な「栗原市介護保険事業計画」の策定が求められます。

策定に、市民・関係団体の参画を図り、生活支援コーディネーターの育成を進めることが大切であり、どうか。

又、「介護保険事業計画」の策定状況は、どうか。

2、地域包括ケアネットワークづくりに資する「医療・介護総合確保基金（医療分及び介護分）」の活用計画・執行状況は、どうか。

答弁（市長）

(1)-1 平成30年度から平成32年度の「第7期介護保険事業計画」の策定に向け、現在、要介護認定を受けて在宅で生活している方の在宅介護実態調査を行っています。

平成29年度は、市民アンケートを予定し、その結果と「第6

する、詳細は、引き続き協議し、書面で確認します。

二、福祉政策について

生活支援コ-ディネーターの育成を!!

(1) 医療・介護ケア、地域包括ケアシステムの推進について

1、地域の支え合い活動の推進が必要であり、生活支援コ-ディネーターは、地域のさまざまな活動や支え合い活動といった地域資源を発掘したり、新たな支え合い活動の推進役を担うための育成は大変重要であり、平成28年9月に「市生活支援体制整備協議会設置準備委員会」を設置し、役割や適正な配置などを育成を含めて協議を行っています。

その育成は大変重要であり、平成28年9月に「市生活支援体制整備協議会設置準備委員会」を設置し、役割や適正な配置などを育成を含めて協議を行っています。

2、地域包括ケアネットワークづくりに資する「医療・介護総合確保基金（医療分及び介護分）」の活用計画・執行状況は、どうか。

(1)-2 県の「地域医療介護総合確保基金」の活用は、法律に基づき、県が事業計画を策定し、県の事業のほか、医療機関や介護サービス事業所等が実施する事業に対して、県が補助金等を交付します。

市では、平成28年度に築館地区に整備する地域密着型特別養護老人ホーム1施設、認知症高齢者グループホーム1施設の設置費と、開設準備経費の補助金に活用されています。

委員は、学識経験者、住民または利用者の代表者、公共交通事業者の代表者などの分野から皆名を推薦をもらい21の方に委嘱しています。「栗原市地域公共交通網形形成計画」は、人口や高齢化率、施設分布等の地域特性及び人の動きや各公共交通機関の運行状況、利用状況等のを通じて地域の現況を整理するとともに、まちづくりの方針と整合性を図っていくことを確認を行っています。

〔1〕—4 平成28年度は、望ましい公共交通網とするため「栗原中央病院」と東北新幹線くりこま高原駅がその対象として考えられますが、さらに市民の利便性と将来の観光振興を見据えた地域づくりの両面から検討を進めていきます。

原市地域公共交通網形成計画」を策定し、平成29年度は、運行実現のための「栗原市地域公共交通再編実施計画」の策定を予定し、平成30年度は運行準備や、国土交通省への認定申請などを経て、平成31年度からの運行に向けて準備を進めていきます。

2-1(2) パックネットの改修
は、市内体育施設全体の老朽化
が課題となつており、利用者の
声を聞きながら、年次計画を策
定し検討していきます。ナイター
の整備は、現時点で考えていま
せん。

今年の世相を表す一文字漢字は“金”とでた。しかし私からいうと“乱”である。それは想定外の事が世界的に多発した年

烈な怒りに押されて国会は朴大統領の弾劾を決議した。これも国民の世論が引き起こした“乱”である。

四、スポーツ政策について

市民が親しむ施設の

口、ナイターの新設
②若柳野球場（築41年）
イ、ナイターの新設

(1) 12 市内全域の公共交通を取り巻く実態を調査・把握し地域全体を見渡した面的な公共交通と本市のまちづくりとも連携し、一体となつた公共交通ネットワークの持続可能な運用実現を目指すに向け「地域公共交通網形成長計画」

「画」を策定するとしており、市
が目指すべき将来像とともに、
その中で公共交通が果たす役割
を明確にするため、市の公共交通
の現状を明らかにし、公共交通
の活性化及び再生に向けた取
組みの方向性を示す、人口と

子供から高齢者まで生涯にわたり、スポーツに親しみ、身心共に健康で生き生きと暮らせる地域づくりが求められています。

4、小田ダム湖畔パークゴルフ場（築5年）
　　、クラブハウスの冷暖房設置
　　、クラブハウスの増設
ハ、駐車場の拡張

トープで対応しています。冷房は、利用者から要望等は受けており、指定管理者などと協議を行い、必要に応じて検討しています。

にも反E.U.の動きがあるという。統合から分立へと想定外のこと がおこりつつあるようだ。

県知事の誕生もそうだ。

答弁(市長)

1—①② 日本陸連第三種公認

4-18 通常の駐車場のほか、難しい。

る」とい「パリ協定はキャンセルする」「日韓は核武装する

-4-3

社会新報

- ◆発行所
社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊（水曜日発行）
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-1
- 電話 代表 03(3592) 7515
振替 00140-1-3203
- ◆定価 180円
- ◆1ヶ月 700円
- ◆送料 164円

今年は“乱”の年だつた
ヤブニラミ

ヤブニラミ